

# 平成29年12月第5回人吉市議会定例会会議録（第1号）

平成29年11月28日 火曜日

## 1. 議事日程第1号

平成29年11月28日 午前10時 開会

- 日程第1 会期の決定
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 議第81号 専決処分の承認を求めることについて（平成29年度 人吉市一般会計補正予算（第4号））
- 日程第4 議第82号 平成29年度人吉市一般会計補正予算（第5号）
- 日程第5 議第83号 平成29年度人吉市一般会計補正予算（第6号）
- 日程第6 議第84号 平成29年度人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第7 議第85号 平成29年度人吉市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第8 議第86号 平成29年度人吉市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第9 議第87号 平成29年度人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第10 議第88号 人吉市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第11 議第89号 人吉市職員の退職手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第12 議第90号 人吉応援団基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第13 議第91号 市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第14 議第92号 公の施設の指定管理者の指定について
- 日程第15 議第93号 損害の賠償について
- 日程第16 議第94号 損害の賠償について
- 日程第17 議第70号 平成28年度人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について（継続）
- 日程第18 議第71号 平成28年度人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について（継続）
- 日程第19 議第80号 平成28年度人吉市歳入歳出決算認定について（継続）

厚生

決特委

## 2. 本日の会議に付した事件

- ・ 議事日程のとおり

3. 出席議員（18名）

1番	塩見寿子君
2番	宮原将志君
3番	高瀬堅一君
4番	大塚則男君
5番	宮崎保君
6番	平田清吉君
7番	犬童利夫君
8番	井上光浩君
9番	豊永貞夫君
10番	西信八郎君
11番	本村令斗君
12番	笹山欣悟君
13番	福屋法晴君
14番	村上恵一君
15番	永山芳宏君
16番	三倉美千子君
17番	仲村勝治君
18番	田中哲君

欠席議員 なし

---

4. 説明のため出席した者の職氏名

市 長	松岡隼人君
副市長	松田知良君
教育長	末次美代君
総務部長	井上祐太君
企画政策部長	迫田浩二君
市民部長	廣田五浩君
健康福祉部長	告吉眞二郎君
経済部長	福山誠二君
建設部長	山田巧君
総務部次長	丸本縁君
企画政策部次長	小林敏郎君
財政課長	植木安博君

会計管理者	山下正純君
水道局長	中村則明君
教育部長	松岡誠也君

---

5. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

局長	山本繁美君
次長	栗原亨君
次長	椎葉千恵君
書記	青木康德君

---

---

午前10時 開会

○議長（田中 哲君） おはようございます。出席議員が定足数に達しておりますので、本日の会議は成立いたしました。よって、これより平成29年12月第5回人吉市議会定例会を開会いたします。

会議を開きます。

本日の議事は、議席に配付の議事日程によって進めます。

議事に入ります前に、お手元に配付してあります議長会の報告、その他の報告事項につきましては、口頭報告を省略し、書類報告にかえさせていただきます。

なお、関係書類につきましては、それぞれ議会事務局に備えてありますので、御一覽いただきますようお願いいたします。

また、報告事項、第3番目の教育委員会の事務に関する点検評価報告につきましては、皆様のお手元に報告書を配付してあります。この件につきましては、教育長から発言の申し出がっておりますので、議事終了後、発言を許可することにいたします。

---

---

#### 発言の申し出

○議長（田中 哲君） ここで、10月1日付で人事異動がありました課長級職員から挨拶の申し出がっておりますので、これを許可いたします。

○産業支援審議員（井上敬明君）（登壇） おはようございます。経済部産業支援審議員を拝命いたしました井上敬明と申します。どうぞよろしくようお願いいたします。

---

---

#### 日程第1 会期の決定

○議長（田中 哲君） それでは、これより議事に入ります。

日程第1、会期の決定を議題といたします。

本件については、去る11月21日に議会運営委員会が開催され、会期日程等について協議がなされておりますので、これについて議会運営委員長の報告を求めます。（「議長、14番」と呼ぶ者あり）

14番。村上恵一議員。

○14番（村上恵一君）（登壇） おはようございます。平成29年12月第5回人吉市議会定例会に当たりまして、去る11月21日に議会運営委員会を開催し、会期日程等について協議をいたしておりますので、その結果を御報告申し上げます。

まず、会期につきましては、本日11月28日開会、あす29日午前、市庁舎建設に関する特別委員会、午後、治水・防災に関する特別委員会、30日から12月4日まで休会、5日、6日一般質問、7日一般質問及び委員会付託、8日予算委員会、9日、10日休会、11日、12日総務文教委員会、厚生委員会、経済建設委員会、13日の午前、総務文教委員会、厚生委員会、経

済建設委員会、午後、予算委員会、14日から18日まで休会、19日委員長報告、採決、閉会と  
いうことにいたしております。

次に、一般質問でございますが、一般質問につきましては、質疑を含めた一般質問とし、  
一般質問の通告は12月1日金曜日午前11時に締め切りまして、登壇順番は抽せんにて決定す  
ることにいたしております。一般質問は一問一答制による一般質問で、質問回数につきまし  
ては制限なしとし、登壇1回、2回目からは質問席にて行い、質問時間は50分以内としてお  
ります。

なお、継続審査となっております、議第70号平成28年度人吉市水道事業特別会計利益の  
処分及び決算の認定について、議第71号平成28年度人吉市公共下水道事業特別会計利益の処  
分及び決算の認定について、及び、議第80号平成28年度人吉市歳入歳出決算認定については、  
本日、委員長報告の上、採決することにいたしております。

また、議第82号平成29年度人吉市一般会計補正予算（第5号）につきましては、委員会付  
託を省略し、本日審議を行い、採決することにいたしております。

以上、報告を終わります。

○議長（田中 哲君） 会期については、ただいまの議会運営委員長報告どおり決定すること  
に御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（田中 哲君） 御異議なしと認めます。

よって、会期については、議会運営委員長報告どおり決定いたしました。

---

---

## 日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（田中 哲君） 次に、日程第2、会議録署名議員の指名をいたします。

署名議員に13番、福屋法晴議員、14番、村上恵一議員を指名します。

---

---

## 日程第3 議第81号から日程第16 議第94号

○議長（田中 哲君） 次に、日程第3、議第81号から日程第16、議第94号までの14件を一括  
議題とし、直ちに執行部の説明を求めます。

○市長（松岡隼人君）（登壇） 皆様、おはようございます。平成29年12月第5回人吉市議会  
定例会の開会に当たり、発言の機会をいただきましたことに心から厚くお礼申し上げます。

去る10月22日に第48回衆議院議員総選挙が執行され、総数465人の衆議院議員が公選され  
ました。困難きわめる国際情勢を初め、国政を取り巻く状況は厳しいものがございます。明  
治維新の立て役者、坂本龍馬が詠んだ一句「君がため捨つる命は惜しまねど心にかかる国の  
行く末」のごとく、私自身も新たな日本丸のかじ取りに大きく期待を寄せるとともに、我が  
国の行く末をしっかりと見詰めていきたいと存じます。

さて、平成30年は、明治維新から150年という節目の年を迎えますが、新しい国の形をつくり上げた維新最大の功労者でもある西郷隆盛の一生をドラマ化した「西郷どん」がNHK大河ドラマで放映されることになっております。200年以上続いた鎖国の状態から新興国として国際舞台に飛び出した若き日本に思いをはせるとき、現在にも増して多くの困難が山積する中で、発展を遂げてきた往時の苦労はいかばかりであったかと想像を絶するところでございます。

社会的にも現在に引き直せば大きなパラダイムの変化で、物の見方、捉え方、枠組みの変革が求められる状況は、人類史上初の超少子高齢社会を迎える現在とも重なる部分があり、人口減少時代の中で、人口の確保に努めながらも、都市の体幹とも言える土地利用など、まちのあり方、「かたち」などを再構築する必要性を実感しております。各校区における市政懇談会においても、高齢化の進展に伴う各種インフラの整備、本市の土地利用、施設配置等について要望や意見がさまざまに出されており、今後、新市庁舎を中心にしたまちづくり、麓町本庁舎周辺を含む跡地利用、公共施設の総合管理等を具体的に進める必要がありますが、コンパクトシティの進化、防災、景観形成、新たな交通体系の確立、健康・医療・福祉のまちづくりの観点から、安全・安心、暮らしやすさ、そして持続可能で魅力あふれる人吉づくりを西郷南州翁たちがつくり上げようとした新しい国家像に思いをはせながら、私自身も取り組んでまいりたいと存じます。

平成28年度の人口動態調査の結果が発表され、我が国の出生数が初めて100万人を割ったことが公表されました。明治32年、西暦では1899年の統計開始以来、最低の数字ということで、人口減少社会を改めて実感するニュースでございました。今回の衆議院議員総選挙においても、子育て世代の負担軽減策は政党間の争点の1つであり、将来にわたって持続可能な社会の構築のためには、その重要性、緊急性が大きくクローズアップされてきたところでございます。本市としましては、本年10月から中学校卒業までの医療費を完全無料化に移行するなど、市議会の御理解をいただきながら子育て世代への支援を進めているところであり、今後も国の動静等に留意しながら、さらなる拡充に努めてまいりたいと存じます。

また、人口が減少する一方で、人工知能やロボットといった先端技術が、我々の生活や各種産業といったさまざまな分野に大きな変革をもたらしており、マンパワーを補完するどころか、近い将来には人にとってかわるような勢いさえ感じる昨今の状況でございます。当然、このような社会の変遷が、地球規模での環境保全や人類の幸福向上につながるようコントロールしていくことが、今を生きる我々の使命でございますが、さらなる超スマート社会の到来に備えて、本市においても「不易流行」の言葉どおり、時流を的確に捉えながらも、揺るぎない価値観の醸成や都市のアイデンティティ、目指すべき発展方向を確定し、未来へつないでいくことがこれまで以上に求められるものと認識しております。そして、そのためには、それを担う人づくりが最も重要であり、全ての根幹であるというのが私の信念でもあり、

広い意味での教育を初め、人に焦点を当てるような施策に取り組んでまいりたいと存じます。

特に、テクノロジーが飛躍的な進化を遂げ、急激に進展する情報化、グローバル化など将来の変化を予測することが困難な時代にあって、人づくりの基本である教育に求められる役割はますます広く、深く、難しくなるものと認識をしており、家庭、学校はもちろん、地域を含め社会全体のテーマとして取り組んでいくべきものだと考えております。

国で進められてきた「次世代の学校を創生し、教育を強靱化する」といった方針も、こういった社会背景に基づくものであると理解をしておりますが、一方では、教育によって、人工知能、いわゆるAIの進化といった光の部分についても、未来を切り開く力にしてもらいたいと強く願うところでございます。

去る10月16日には、新教育制度下における基幹事業とも言える総合教育会議を開催し、教育委員の皆さんと本市教育について現状の把握、意見交換、今後取り組む課題等の共有を行ったところでございます。特に、本市議会でも御指摘をいただいております小学校部活動の社会体育移行については、多くの時間を割いて意見交換を行いました。具体的には、実施場所や傷害保険、小学校の部活動からのスムーズな移行に伴う諸課題、スケジュール等に意見が及び、指導者等の確保の面から種目別の設定は難しいという状況も理解をしたところでございます。今後も、本市としましては、子供たちをどう育てたいのか、そのためにはどのような環境が必要なのか、その根幹の部分を入吉市教育振興基本計画に沿ったビジョンに照らしながら、個々の施策等について、よりよい方向を合議してまいりたいと存じます。

本年の秋は、特に印象深い秋となりました。節目の事業として挙行をした麓町本庁舎の閉庁式を初め、歴史を重ねている犬童球溪頭彰音楽祭の碑前祭、再編整備後の球磨中央及び南稜高校の開校記念式典、新たな歴史を築いた入吉市女性消防隊の全国女性消防操法大会優勝など、さまざまな式典や大会に参加をし、この地域における歴史の意味、言いかえれば、歴史観といったものを世代を超えて共有することの重要性を実感いたしました。一方、現在、市議会を含め御検討いただいている新市庁舎における「入吉らしさ」といったものを追求する中で、本市の大切なもの、後世に伝えるべきもの、市民がふるさとへの思いを共有し、心を1つにできるものを再発見するよい機会にもなっており、麓町本庁舎の閉庁式とも相まって、市庁舎をめぐるふるさと入吉を再認識する機運が高まりつつあります。

現在、傾注している移住定住の促進についても、やはりそこに住む人の幸福感といったものが最大ベースであり、論語にある「近者悦遠者来（近き者悦ばば、遠き者来る）」という、私が志す政治の1つの理想形にも通じるものがあると確信しております。年末に近づき、本市のふるさと納税の件数も伸びており、まことにありがたく存じますが、同時に応援いただく皆様の御期待に沿えますよう、「住み続けたい」、「住んでみたい」、「今は離れているけれどいつかは帰りたい」と思われるような入吉、「故郷忘じがたく」と語り継がれるようなふるさと入吉をつくることで恩返ししてまいりたいと存じます。

また、本市出身のウッチャンこと内村光良氏が、大みそかの国民的番組である第68回NHK紅白歌合戦の総合司会に抜てきされるといふ、うれしいニュースが本市に飛び込んできました。改めてお祝いを申し上げますとともに、市民各界各層、特に本市の子供たちに大きな夢と希望を与えていただきましたことに深くお礼を申し上げたいと存じます。

それではここで、各部の主軸・主要事業について御報告させていただきます。

まず、総務部・企画政策部関係でございますが、去る10月29日に挙行いたしました麓町本庁舎閉庁式につきましては、これまで麓町本庁舎において、市政に御尽力をいただきました歴代の市長とその御家族、金子恭之衆議院議員、歴代の市議会議員や市職員を初め多数の市民の皆様とともに、麓町本庁舎に対する感謝とお別れを伝える機会を得ましたことを大変光栄に存じ、深く感謝を申し上げます。

式典におきましては、第一中学校吹奏楽部による演奏に始まり、人吉東小学校及び第一中学校の児童・生徒代表、さらに市職員OB代表の黒肥地改太郎様からの御挨拶を賜り、その後、歴代市長など関係の方々による献花を行っていただきました。最後には、55年間への慰労と感謝など万感の思いを込めて、御臨席の皆様全員で、市旗降納を見届けていただいたところでございます。

1つの時代の終えんに立ち会った参列者からは、「格別の寂寥と新たな時代の幕あけを感じた」という御意見を多くいただき、安堵の思いとともに、新たなる責任の重さを痛感いたしました。麓町本庁舎は、来春をめどに解体に着手することとなり、直接その雄姿を目にすることはかなわなくなりますが、この閉庁式を節目に、いつまでも市民の皆様のご記憶の中に生き続けることを切に願うものでございます。

市庁舎移転建設関係でございますが、このたび、市庁舎建設事業の取りかかりとなる旧保健センター及び旧勤労青少年ホームの解体工事に着手いたしました。事業計画では、この後も西間別館倉庫の解体、小永野第一雨水幹線のつけかえを経て、市庁舎建設本体及び外構工事等を順次行う計画でございます。現在の計画どおり、平成33年春の供用開始を目指し、着実に事業を推進してまいりたいと存じます。

工事期間中は、工事用車両の通行ルートの指定や、速度制限を行い、交通誘導員を適切に配置し、安全対策を徹底するとともに、防音シートや仮囲いを設置するなど、騒音、振動の軽減にも努めてまいりたいと存じます。特に、周辺にお住まいの皆様には、市庁舎が完成するまでの期間、長期にわたり御迷惑と御不便をおかけすることになりますが、何とぞ御理解と御協力をお願い申し上げます。

人権啓発関係でございますが、「差別と戦争に反対し、格差と貧困の打破と社会連帯を目指して部落解放運動の新たな飛躍をかちとろう」をテーマに、部落解放第30回熊本県研究集会が人吉スポーツパレスなどを会場に、11月18日、19日の両日、開催されたところです。全体集会には、県内の行政、教育関係者など約3,000人が参加され、「差別のない明るい社



会」を構築していくため、同和問題に対する正しい認識を深めていただいたところでございます。大会運営に御尽力いただきました関係の皆様、御参加いただきました県民の皆様に対し、心より感謝申し上げます。

広報・広聴関係でございますが、広報ひとよしの発行回数につきましては、近年の県内各市の状況を調査・検証し、月1回発行への見直しを検討したところでございます。

本市につきましても、経費削減の観点、ホームページ、データポンなどインターネットやテレビを活用した情報発信を初めとする広報手段の多様化など、総合的に判断いたしまして、平成30年度から月1回の発行とさせていただきたいと考えております。発行回数は減少いたしますが、これまでと同様に、質、量ともに低下させることなく、市民の皆様に必要な行政情報をしっかりお届けしてまいりますので、御理解、御協力のほどをお願い申し上げます。

移住定住関係でございますが、本年度は地方創生推進交付金を活用し、本市の移住定住施策の柱となるビジョンの策定に向けて事業を進めているところでございます。「市外の人に住みたいと思う人吉」、「今住んでいる人がこれからも住み続けたいと思う人吉」とはどのようなまちなのか、市民の皆様とともに対話を通して、その答えを検証、検討していく場として、ひとよし未来会議を行います。未来会議では、テーマ別の分科会を年内から年明けにかけて開催し、平成30年3月には、総まとめの場として市民の方々だけではなく、他の地域から参加された方々も交え、150から200人規模の大未来会議を行うべく計画をしております。その中で意見をもとに、移住定住ビジョンをまとめ上げ、平成30年度に具体的な施策を展開してまいります。ぜひ、多くの市民の皆様にご参加いただき、将来の人吉のまちづくりに向けた御意見を賜りたいと存じております。

消防関係でございますが、去る9月30日、秋田市で開催されました第23回全国女性消防操法大会に熊本県代表として人吉市女性消防隊が出場し、市民の皆様の大きな期待を背に、初の日本一へ向け、熱い思いで挑んだところでございます。

結果につきましては、即日、朗報に沸きましたとおり、雨、風、寒さなど厳しいコンディションではありましたが、一糸乱れぬすばらしい操法を披露し、見事全国の頂点に輝くことができました。選手たちのたゆまぬ努力に敬意を表しますとともに、御指導いただきました人吉下球磨消防組合の方々のほか、御支援賜りました皆様にご心からお礼申し上げます。この優勝を機に、本市女性消防隊を初め本市消防団がますます御活躍されますことをお祈りいたします。

防災関係でございますが、これまで地震発生の際に取り沙汰されてきました災害避難所におけるトイレをめぐる問題でございますが、被災者を健康被害から守るべく、マンホールトイレの整備を計画し、年次的に実施していくこととしております。今後、本圏域において、大規模災害を引き起こすおそれのある人吉盆地南縁断層地震に備えるためにも、トイレの確保、水の確保は急務であると認識しており、将来に向けて、災害に強いまちづくりを目指す

ため、さまざまな防災対策に取り組んでまいります。

次に、市民部・健康福祉部関係でございます。国民健康保険事業につきましては、平成30年4月1日からは、運営主体が熊本県と45市町村等の共同で保険事業を運営することとなります。今後、県において、国民健康保険の各市町村の標準保険税率の公表及び国民健康保険事業納付金等が決定され、本市においては、県が示した標準保険税率等を参考にしながら、平成30年度の国保税を算定する運びになります。なお、窓口における各種手続や保険証の発行、特定検診等の保健事業につきましては、従来どおり継続して行うこととなります。

新たな保険事業制度の実施に伴い、本市においては、現行の国民健康保険税条例のもとで改正を行い、制度の安定化、効率化を図ってまいりますので、被保険者の皆様には、御理解と御協力をお願い申し上げます。

福祉政策関係でございますが、去る10月7日、カルチャーパレスにおきまして、平成29年度人吉市戦没者追悼式を挙行し、御遺族や関係する約150人の出席者とともに、戦没者のみたまに対し哀悼の意をささげました。従来、4月の平日に実施しておりましたが、時代の流れとともに、御遺族やさきの大戦を経験された方々が少なくなり、戦争を知らない世代が多くなるにつれて、式典への関心の薄れや参加者の減少が懸念されておりましたので、子供たちなど、幅広い世代が参加しやすい土曜日に開催したところでございます。

また、式典の中で戦没者のひ孫に当たる中原小学校の尾崎優太さんに「平和への願い」と題した作文を発表していただきました。戦没者追悼式は、戦没者への哀悼と感謝をささげる式典であるとともに、戦争の恐ろしさ、悲しさ、むなしさを次世代に伝え、恒久平和を祈念する行事でもあることの理解も広く求め、今後も多くの方々の参加を促してまいり所存でございます。

高齢者福祉関係でございますが、人吉市老人クラブ連合会におかれましては、本年度、優良市町村老人クラブ連合会として、厚生労働大臣表彰を受けられました。

人吉市老人クラブ連合会は、昭和39年の結成以来、高齢者を取り巻く時代の変遷の中においても、全国老人クラブ連合会が提唱する「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動に連動し、高齢者の方々が健康で自立し、身近な仲間と支え合いながら、地域で生き生きと暮らしていく活動を着実に実践してこられました。また、その活動の中には、シルバーヘルパー事業やこども王国保安官事業など本市の地域性や特色に合った活動へと進化したものもあり、地域づくりにも多大なる貢献をいただいているところでございます。

このたびの受賞は、歴代会長や多くの会員の方々から、現在の会長、会員に引き継がれてきた半世紀を越える活動のたまものであり、多くの皆様の手によって受賞できたことに大変意義があるものと存じます。

今回の受賞に対し、心からお祝いを申し上げますとともに、今後も高齢者を取り巻くさまざまな課題に向き合い、会員の皆様の健康や生きがいがいづくり、地域での生活支援に資する独

自の活動を展開されますことを期待しているところでございます。

健診関係でございますが、全国の市町村には、母子保健や学校保健などの健診情報や国民健康保険のレセプトなどの医療情報はあるものの、これらの情報をデータ化し、分析する仕組みはございませんでした。

近年のITの進歩は目覚ましく、膨大な情報を蓄積させることが可能となりましたことから、京都大学を中心に設立された一般社団法人健康・医療・教育情報評価推進機構が、国などの支援を受けて健診などの情報をデータ化し分析することで、健康・医療政策に生かす事業を展開されており、このたび、本市においても、県内他市町村に先駆けて参加することといたしております。

本市といたしましては、まずは学校保健の健診情報をデータ化し、将来的には、同機構から提供される分析結果をもとに、今後の健康教育や疾病予防等の施策に活用してまいり所存でございます。

次に、経済部関係でございます。去る11月11日、12日の両日、ふるさと歴史の広場において、第68回ひとよし産業祭が開催されました。本年も、両日ともに天候に恵まれ、市内外から多くのお客様に御来場いただき、実行委員会の皆様を初め御協力いただきました全ての市民の皆様にご心からお礼を申し上げます。熊本地震から1年が過ぎ、元気な人吉を発信するため、市民の皆様によるさまざまな芸能の披露のほか、食や物産コーナーにおいても、地元食材を使った食品、人吉球磨の物産や土産物などの販売を行っていただき、大いに盛り上がりを見せたところでございます。

また、本市の友好都市でもございます静岡県牧之原市からは、牧之原市商工会会長、本杉芳郎様を初め同商工会女性部、牧之原市職員の方々にもお越しいただき、釜揚げしらすを初めとする海産物などの販売により、物心両面で本市との交流に努めていただいたところでございます。この場をおかりしまして、厚くお礼申し上げます。今後も、両市のさらなる交流を発展させてまいりたいと存じます。

商工関係でございますが、起業創業・中小企業支援センター長の募集につきましては、募集期間を10月4日から11月20日までとし、転職ウェブサイトの活用や日本経済新聞への広告掲載、さらに、東京都内にて募集セミナーを開催するなど、多くの方々を対象に、募集情報や業務内容の周知を図り、応募促進に取り組んでまいりました。その結果、東京都内を初め大都市圏在住者を中心に127人の方々から応募いただいたところでございます。

今後は、12月14日に専門家を交えた書類選考にて5人程度を選定し、年明けの1月27日に本市で実施いたします面接審査を経て、センター長を決定することといたしております。

国民宿舎利活用関係でございますが、国民宿舎くまがわ荘につきましては、「まち・ひと・しごと」における総合交流施設として整備していく方針でございまして、1階部分をコミュニティゾーン、2階部分をITビジネスゾーンと位置づけ、平成30年7月には、第1期

の整備として（仮称）旅カフェエントランスセンター、起業創業・中小企業支援センター及び温泉を活用した交流施設の開設を計画しているところでございます。将来はこれらに加え、情報発信スペースや貸会議室として利用できる多目的ルーム、個人事業者や小規模法人が施設・設備を共用し、自由にコミュニケーションを図ることができるコワーキングスペースの整備を行うとともに、IT企業等のサテライトオフィスの誘致を進めてまいりたいと存じます。

また、内設する（仮称）旅カフェエントランスセンターの整備につきましては、現在、1階玄関からフロント周辺、ホール、球磨川を望むロビーなどを改修エリアとして、事業着手に向け、準備を進めており、今回追加したスロープ設置及びテラス改修とあわせ、平成29年度内の完成を目指しております。同施設がリニューアルされる仮称「まち・ひと・しごと」総合交流施設の金看板として、さらには、人吉球磨各地に観光客を送り出すガイドセンターとしての役割を最大限担ってほしいと期待しております。

くま川下り株式会社の事業再生関係でございますが、同社と経営コンサルティング会社との間で、新たな事業再生計画の策定に向けた契約が締結され、存続に向けた実現性の高い抜本的な改革のための計画とするため、事業分析や財務分析の実施がなされております。

その過程にあわせて、同社の経営実態、経営難に陥った原因を具体的に調査するとともに、課題の掘り起こしや課題の共有のため、船頭さんを初め社員一人一人とのヒアリングを鋭意進められております。さらには、幅広く市民の皆様にも「くま川下り」という人吉球磨地域の大事な観光資源を改めて見詰め直し、理解を深めていただく場として、去る10月15日に東西コミュニティセンターにおいて、住民参加型の意見交換会が開催され、危機的な経営難に陥った原因や課題を住民ならではの目線で語り合い、再生に向けて前向きな議論が交わされたところでございます。

筆頭株主である本市としましては、引き続き、同社の取締役会、メインバンクである株式会社肥後銀行とともに、関係各位と連携をとりながら、業務改善やサービス向上の具体的な方策なども踏まえた新たな事業再生計画の策定と同社の存続に向けて、できる限りの支援を行ってまいりたいと存じます。

スマート林業関係でございますが、市内全域の民有林約1万ヘクタールを対象に、航空レーザー計測と解析を行い、森林資源のデータを得ることができました。そのデータをもとに、生産工程に関係する事業所5社は、人吉地域の木材安定供給に向けた検証試験に関する協定を締結し、本市とともに林業事業者に対し、木材加工事業者等を介して、建築等木材利用者のニーズをつなげることで、伐採から販路まで連携する仕組みづくりに取り組んでおります。今後は、新しいビジネスモデルを確立すべく、従来の生産工程などと比較し、スマート林業の生産性について官民一体となって検討してまいります。

また、若年層の林業に対する認知度の向上を図り、将来、林業を職業の選択肢としてもら

えるように、人吉球磨地域の小中学校、高校、専門学校の児童・生徒を対象に、林業教室を実施し、本年は、座学やチェンソーを使ってのデモンストレーションに加え、シイタケの植菌体験も取り入れ、より一層林業へ興味を持っていただけるものと存じます。

次に、建設部関係でございます。スマートインターチェンジ整備事業の進捗状況につきましては、西日本高速道路株式会社が担当します本体工事は、JR九州の肥薩線をまたぐ橋梁の橋台が完成し、橋梁の上部工に着手されたところでございます。

また、本市が担当する国道219号本線改築工事に伴う仮設道路改良工事につきましては、関係機関との協議による発注のおくれはあったものの、去る10月18日に着手し、計画どおり進捗しているところでございます。

なお、仮設道路への道路切りかえの際など工事内容によっては、夜間の工事、片側交互通行などを実施いたします。周辺にお住まいの方々を初め、当該道路を利用される皆様には大変御迷惑、御不便をおかけしますが、安全を第一に工事を進めてまいりますので、御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、教育部関係でございます。まず、学校教育関係でございますが、平成29年4月18日に実施されました「全国学力・学習状況調査」の市内小中学校全体の調査結果及び考察につきましては、今月30日に本市ホームページ上において公表いたします。

本調査は、児童・生徒の学力と学習状況を把握し、指導方法や学習状況の改善に役立てることを目的としておりまして、国語と算数または数学の知識や活用に関して調査する「教科に関する調査」と学習の意欲や環境などを調査する「質問紙調査」を小学校6年生と中学校3年生を対象に実施されたところでございます。本市では、本調査の結果と考察を公表することにより、保護者、市民の皆様に対する説明責任を果たすとともに、学校、保護者、地域が一体となって学力の向上や学習環境の改善に取り組んでまいりたいと存じます。

全国的に子供たちのいじめや、それを原因とする自殺が深刻な社会問題となっている厳しい現状を踏まえ、「命の大切さ」をどのように捉え、どのように子供たちに伝えていくかは喫緊の課題でもあると認識しているところでございます。そこで、市内の各中学校における教育活動での取り組みとあわせて、命を大切にする心を育む「命の授業」を市内の中学生を一堂に会して、来る12月20日にカルチャーパレスにおいて開催することとしております。

講師に、テレビや各地の高校、中学校、そして少年院などで啓発活動を行っておられるゴルゴ松本氏をお招きすることで、多感な思春期の子供たちの感性に訴えかける講演会となり、一人でも多くの子供たちが命の大切さを深く感じ取ってくれることを期待しているところでございます。

「子ども議会」につきましては、年明けの1月19日に市議会本会議場において、本市の未来を担う小学生を対象に「わたしたちがつくる人吉市の未来」をテーマとして、「子ども議会」の開催を計画しているところでございます。小学生児童による「子ども議会」は、17年

ぶりの開催でございまして、議会の模擬体験を通して、市民生活と行政とのかかわり、本市が直面するさまざまな課題について考えるとともに、みずからの言葉で質問を行うことにより、議会制民主主義への理解を深めながら地方自治の仕組みについて学習することを目的としており、市内全ての小学校から選出された6年生の子ども議員20人が、「まちづくり」を初めとした鋭い質問や活発な意見をいただけるものと大いに期待しているところでございます。

社会教育関係でございしますが、社会人向けのアカデミックな生涯学習講座としておなじみとなりました「ひとよし花まる学園大学」を去る10月14日に開講いたしました。本講座は本年で6年目となりますが、熊本学園大学教授の方々を初め人吉球磨地域の歴史や文化に詳しい方々に講師を務めていただき、毎回好評を博しているところでございまして、教養講座では、75人の受講生が熱心に耳を傾けられたところでございます。今後も、市民の皆様の学習意欲に応え、質の高い内容で知識と教養を深めていただくことで、地域の活力と活性化につながるよう努めてまいりたいと存じております。

スポーツ関係でございしますが、第72回熊本県民体育祭人吉球磨大会におきましては、台風18号の接近に伴いまして、日程を変更し、9月16日のみの開催となりました。台風によるさまざまな影響や選手のけがなど安全への配慮から、やむを得ず中止となった競技もございましたが、本大会の運営に携わる多くの皆様の御尽力により、大きな混乱もなく、無事に終了できましたことに心から感謝申し上げます。

競技を実施することができました各会場の白熱した試合と熱気あふれる応援の様子からは、熊本地震による被害からの復旧・復興を目指す「熊本の元気」を感じとることができ、スポーツを通じた交流や地域づくりの可能性を再認識したところでございます。

地域住民の皆様方も、地元開催ということで多くの方々にお越しいただき、県民のスポーツの祭典を身近で御堪能いただいたことと存じます。本市の選手の活躍は、皆様御承知のことと存じますが、クレール射撃とボウリングの優勝を初め、多くの競技で好成績をあげられ、前回大会から躍進して総合5位というすばらしい成績をおさめられました。

本大会の成功に向けて陰になりひなたになり準備、運営に並々ならぬ御尽力を賜りました大会実行委員会の皆様を初め関係各位の御協力に心から厚くお礼申し上げます。

小学校の運動部活動の社会体育移行でございしますが、本年度は活動方針の決定と組織づくり、平成30年度は引き継ぎ及び移行期間と位置づけまして、平成31年度からの完全移行に向けて、現在、校区ごとに検討委員会を開催し、協議を重ねているところでございます。地域の将来を担う子供たちが、スポーツに親しみ、また、楽しみながら心身ともに健やかに成長するためには、保護者、地域、学校、行政が協働して取り組む必要がございます。

子供を地域で育てるこの取り組みを通して、地域の活性化や地域コミュニティーの強化にもつながるものと考えておりますので、今後とも、市民の皆様の積極的な御参画と御支援を

賜りますようお願い申し上げます。

文化振興事業関係でございますが、芸術の秋を彩る第64回人吉球磨総合美展を10月21日から26日まで、人吉スポーツパレスにおいて開催いたしました。絵画、デザイン、彫刻、書道、工芸、写真の各部門に、人吉球磨地域以外の方々も含め合計328点の出品がございました。審査により選ばれた入選作を中心に、招待作家、審査員、地元高校生の各作品を一堂に、総数278点の展示を行い、期間中は1,776人の方々に御来場いただいたところでございます。

出品いただいた方の年代は、10代の高校生から90代までと幅広く、総合美展はまさに世代を越えた総合芸術の場となっております。人吉美術協会の皆様を初め関係者の皆様に深くお礼申し上げます。

一方、11月4日、5日の2日間、クラフトパーク石野公園とカルチャーパレスにおきまして、人吉文化協会主催により第44回人吉文化祭が開催されたところでございます。2会場に分かれての開催ではございましたが、好天に恵まれ、御来場の皆様には心ゆくまで芸術の秋を堪能していただけたものと存じます。今後も、市民の文化力の向上とともに、後進の御指導等にお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。

第71回犬童球溪顕彰音楽祭でございますが、去る11月10日にカルチャーパレス敷地内の犬童球溪先生の銅像前で碑前祭を行い、その後、大ホールにおいて、学校発表会を開催したところでございます。学校発表会では、同月3日の個人コンクールで「球溪賞」を受賞した地元の小学生や高校生の演奏を初め人吉球磨地域の小中学校、高校36校から1,300人を超える児童・生徒がステージに立ち、すばらしい演奏や合唱を披露していただいたところでございます。また、音楽祭関連事業のフィナーレとして、同月23日に開催いたしました音楽のひろばでは、小学生から80代までの62人の皆さんが、音楽のひろばのための特設合唱団として、8月からの練習の成果を御披露いただき、フィナーレの全員合唱では、歌を通してひとつになる喜びを会場全体で感じたところでございます。これからも市民の皆様や関係の方々と一緒に音楽祭を盛り上げ、犬童球溪先生の偉功の継承に努めてまいり所存でございます。

続きまして、平成30年度予算編成に向け、その方針を定めましたので御報告申し上げます。

平成30年度予算編成に際し、国は「経済財政運営と改革の基本方針2017」を踏まえ、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底的に排除しつつ、本格的な歳出改革に取り組むこととしております。

また、熊本県は、熊本地震の復旧・復興には長い時間と確かな財源が必要であり、本年5月に公表した「中期的な財政収支の試算」においては、平成30年度以降5年間、各年度29億円から94億円の財源不足が生じると試算、復旧・復興を着実に推進していくためにも、真に必要な事業の選択、及び、効率的な予算執行に取り組んでいかなければならないとしております。

一方で、本市においては、最大の課題であった新市庁舎の建設に際し、国から有利な財政

措置が講じられることとなったものの、今後、起債償還の増加は避けられない状況でもあり、可能な限り財政負担の軽減を図っていかねば、教育、福祉、子育てなどの市民生活を支える基礎的な行政サービスを確保できなくなることも危惧されるところです。今後も、「第5次人吉市総合計画後期基本計画」、「人吉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って暮らしやすい地域の創造、子供を産み育てやすい環境の整備、起業創業の支援、交流の活発化など、人口減少に歯どめをかけ、ひいては移住定住促進にもつながる施策を1つ1つ着実に推進していくことが重要であると存じます。

以上のことから、平成30年度予算編成に当たっては、国の予算編成や支援の動向を見きわめつつ、最大の課題である新市庁舎建設を初め市民や地域経済が求めるニーズ等の状況の変化にも的確に対応するとともに、課題の整理や将来展望に努め、市民一人一人の幸福向上や市全体の躍進を目指して、きめ細かく、そして時には大胆な地域づくりを図れるよう進めてまいり所存でございます。

城山三郎氏の名著「男子の本懐」の中で、激動の昭和初期の大蔵大臣井上準之助が不景気にある我が国の経済の先行きを道に例えて話すくだりがあります。「道を定めれば、多少の坂があつて、炎天下で息が切れることがあつても、迂回することなく、その坂を超えることが結局、目的への一番の近道である」というもので、本道に行く重要性を説いております。本市の目指すものについて、時事の細事に気を配りながらも、本筋、正道を歩んでまいりたいと存じております。

最後に、ここ数年において相次ぎました「事務処理ミス」につきましても、しっかりとした検証を行い、実務研修等を通じて再発防止に努めるとともに、効率・効果的な事務処理にも努めてまいりたいと存じます。

以上、平成30年度当初予算編成方針について述べさせていただきましたが、議員各位を初め市民の皆様におかれましても、この趣旨を御理解いただき、今後の改革・改善に特段の御協力、御協賛を賜りますよう心からお願い申し上げます。

引き続き、平成29年9月に行いました専決処分及び御提案申し上げます予算案、条例案、案件議案につきましても、概要を御説明申し上げます。

議第81号平成29年度人吉市一般会計補正予算（第4号）は、9月29日に専決処分いたしました補正予算につきましても、議会の承認を求めるものでございまして、10月22日に執行されました衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る選挙経費を専決いたしましたものでございます。

歳入歳出にそれぞれ1,789万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ171億5,007万3,000円とするものでございます。

議第82号平成29年度人吉市一般会計補正予算案（第5号）は、平成29年度地方創生拠点整備交付金の交付決定に伴い、スロープ設置及びテラス改修といった（仮称）旅カフェエント



ランスセンター整備事業に係る経費を追加補正するものでございます。

なお、今回の平成29年度地方創生拠点整備交付金は、国の平成28年度繰越予算となっていることから、本事業の平成29年度中での完了が必須であり、十分な工事期間を確保するためにも、本日冒頭での採決をお願いするものでございます。

歳入歳出にそれぞれ765万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ171億5,772万3,000円とするものでございます。

議第83号平成29年度人吉市一般会計補正予算案（第6号）は、国・県の補助金交付決定に伴う補正のほか、扶助費などの追加補正を行うものでございます。

今回の補正は、歳入歳出にそれぞれ7,226万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ172億2,998万6,000円とするものでございます。

議第84号平成29年度人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算案（第2号）は、保険給付費の見直しや一般会計繰入金増額、財政調整基金繰入金増額などに伴う補正でございまして、歳入歳出にそれぞれ5,083万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ52億2,535万1,000円とするものでございます。

議第85号平成29年度人吉市介護保険特別会計補正予算案（第2号）は、介護報酬改定等システム改修などに伴う補正でございまして、歳入歳出にそれぞれ554万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ44億1,403万円とするものでございます。

議第86号平成29年度人吉市介護サービス事業特別会計補正予算案（第2号）は、人件費に伴う補正でございまして、歳入歳出にそれぞれ204万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3,673万5,000円とするものでございます。

議第87号平成29年度人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算案（第1号）は、前年度繰越金のほか、土地鑑定手数料等の補正でございまして、歳入歳出にそれぞれ139万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1,444万6,000円とするものでございます。

議第88号人吉市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案は、雇用保険法等の一部を改正する法律による地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、国家公務員における育児休業制度に準じて育児休業の対象となる非常勤職員の育児休業期間の再延長に関する事項を定めること、そのほか所要の改正を行うため、条例の一部を改正するものでございます。

議第89号人吉市職員の退職手当の支給に関する条例の一部を改正する条例案は、雇用保険法等の一部を改正する法律による国家公務員退職手当法の一部改正に伴い、国家公務員における失業者の退職手当制度に準じて、失業者の退職手当の支給内容を拡充するため、条例の一部を改正するものでございます。

議第90号人吉応援団基金条例の一部を改正する条例案は、人吉応援団基金を処分できる事項に寄附を受けるために生じる費用に充てる場合を追加するため、条例の一部を改正するも

のでございます。

議第91号市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例案は、土地改良法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、条例において土地改良法を引用している条項を整理するため、条例の一部を改正するものでございます。

議第92号公の施設の指定管理者の指定についての案件は、人吉市体育施設の指定管理期間が平成30年3月31日に満了することに伴い、平成30年4月1日から平成35年3月31日までの人吉市体育施設の指定管理者にNPO法人人吉市体育協会を指定することにつきまして、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の御議決をお願いするものでございます。

議第93号損害の賠償についての案件は、平成29年7月27日午後2時20分ごろ、相手方車両が民家の浄化槽の清掃を行うため、市道大柿地内第7号線を後退していたところ、当該市道に埋設している水道管の漏水に起因する路面陥没により相手方車両が損傷した事故に関し、相手方と人吉市との間で損害賠償の額を決定し、和解するものでございます。

議第94号損害の賠償についての案件は、平成29年8月17日午前9時ごろ、一二三ヶ迫団地に居住する相手方の部屋に設置されている排水管の接合部が外れたことに伴う漏水により、相手方が所有する財産が汚損した事故に関し、相手方と人吉市との間で損害賠償の額を決定し、和解するものでございます。

以上、御提案申し上げております予算案、条例案、案件議案につきまして、概要を御説明申し上げましたが、詳細につきましては、所管の責任者から御説明させていただきたいと存じます。

議員各位におかれましては、慎重御審議の上、御協賛賜りますようお願い申し上げます。

○議長（田中 哲君） ここで暫時休憩いたします。

午前11時00分 休憩

---

午前11時14分 開議

○議長（田中 哲君） 休憩前に引き続き再開いたします。

○総務部長（井上祐太君）（登壇） 議員の皆様、こんにちは。それでは、私のほうから議第83号平成29年度人吉市一般会計補正予算案（第6号）について、補足説明をさせていただきます。

まず、予算書の1ページでございます。第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、主なものを事項別明細書により、第2条継続費の補正につきましては、第2表継続費補正により、それから、第3条の繰越明許費につきましては、第3表繰越明許費により、それから、第4条の債務負担行為の補正につきましては、第4表債務負担行為補正により、第5条の地方債の補正につきましては、第5表地方債補正により、それぞれ御説明いたします。

めくっていただいて5ページをお願いいたします。第2表継続費補正の変更でございます

が、平成29年度から3カ年で実施をいたします曙橋補修事業におきまして、事業内容等に変更が生じたことから、事業費総額及び年割額を変更するものでございます。その下、第3表繰越明許費につきましては、10款教育費、7項学校給食センター費、学校給食センター配送車購入事業670万円でございます。学校給食センター配送車の仕様を変更するに当たり、改造する部分の製品製作に時間を要し、年度内での納車が困難なことから、事業を繰り越すものでございます。次に、第4表債務負担行為補正の追加でございますが、一番上の市議会会議録作成等業務委託料から、次のページ、6ページになりますが、一番下の学校給食配送等委託料までの11件につきましては、平成30年度の業務委託及び改修工事などにつきまして、年度内に準備行為、入札等を実施するために、債務負担行為の設定をお願いするものでございます。

なお、6ページの上から4件目、カルチャーパレス小ホール屋上防水改修工事でございますが、カルチャーパレスにおきましては、平成28年度から屋上防水工事を段階的に進めてきており、平成30年度は小ホールの屋上防水工事を予定いたしております。そこで、平成30年度の施設仮予約状況を考慮し、平成30年6月末までに工事を完了する必要がありますことから、債務負担行為の設定をお願いするものでございます。

次に、第5表地方債補正の変更でございます。上から2件目の社会資本整備総合交付金事業債及び3件目の大規模修繕・更新事業債は、道路維持補修事業及び道路改良事業及び橋梁改良事業における国庫補助金の交付決定などに伴うものでございます。また、一番上の地方道路等整備事業債、それから下から2番目の公共施設等適正管理推進事業債は、単独事業として実施をいたします道路維持補修事業及び道路改良事業の追加に伴うものでございます。一番下になりますが、防災対策事業債は、大規模災害時における避難場所でのマンホールを活用したトイレ設備設置に向けた実施設計業務委託料の追加に伴うもので、それぞれ限度額の変更を行うものでございます。

次に、歳入の主なものについて御説明いたします。めくっていただいて9ページをお願いいたします。1款市税、1項市民税3,981万9,000円の増額補正から、一番下になりますが、3項軽自動車税350万8,000円の減額補正までは、平成29年度現年課税分の決算見込みによるものでございます。

10ページをお願いいたします。14款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金1,985万6,000円の増額補正は、2節児童福祉費負担金、子どものための教育・保育給付費負担金の増が主なものでございます。2項国庫補助金、2目民生費国庫補助金1,637万9,000円の増額補正は、2節児童福祉費補助金の放課後児童健全育成事業などに対する子ども・子育て支援交付金の増が主なものでございます。4目土木費国庫補助金2億1,669万7,000円の減額補正は、2目道路橋梁費補助金及び4目都市計画費補助金における社会資本整備総合交付金の交付決定による減が主なものでございます。

11ページをお願いいたします。15款県支出金、1項県負担金、1目民生費県負担金851万円の増額補正は、国庫負担金と同じく、子どものための教育・保育給付費負担金の増によるものでございます。2項県補助金、2目民生費県補助金2,100万5,000円の増額補正は、2節児童福祉費補助金の市内9カ所の学童クラブに対する放課後児童健全育成事業費補助金の増が主なものでございます。

めくっていただいて12ページをお願いいたします。4目農林水産業費県補助金582万7,000円の増額補正は、集落が行う農地周りの水路・農道等の補修、更新などの活動に対する多面的機能支払交付金事業費補助金の増でございます。それから7目教育費県補助金20万7,000円の増額補正は、草木山川学校事業に対するくまもとの木とふれあう木育推進事業費補助金でございます。18款繰入金、2項基金繰入金、4目応援団基金繰入金300万円の増額補正は、(仮称)まち・ひと・しごと総合交流施設——これは旧国民宿舎をリニューアルした後の施設名の仮称でございますが、それにおける備品購入に対し応援団基金からの繰り入れを行うものでございます。

13ページをお願いいたします。19款、1項、1目繰越金、1節前年度繰越金1億8,031万6,000円を増額補正いたしております。20款諸収入、4項、3目雑入、2節民生費雑入5,283万3,000円の増額補正は、後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金の平成28年度精算に伴う返還金でございます。21款市債につきましては、第5表地方債補正で御説明いたしましたので、割愛をさせていただきます。

次に、歳出でございます。14ページをお願いいたします。各款、項、目の中の一般職給、職員手当等、共済組合負担金などの増減につきましては、人事異動等に伴うものでございます。また、国、県支出金などの精算金は、前年度の事業精算に伴うものでございますので、説明のほうを割愛させていただきます。

まず、2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費331万1,000円の増額補正は、第三セクターの経営状況に対し、毎年、第三者評価をいただいている行財政経営検討委員会において、今後策定されるくま川下り株式会社再生計画に対し御意見をいただくために、委員等報酬及び費用弁償を追加するもののほか、これは負担金でございますが、人吉市予約型乗合タクシー運行補助金交付要項に伴う、人吉市予約型乗合タクシー運行補助金の増などがございます。

それから、15ページをお願いいたします。3項、1目戸籍住民基本台帳費——これは一番下でございます——304万6,000円の増額補正は、次のページの16ページになりますが、13節委託料が主なものでございまして、マイナンバーカード及び住民票において、これまで記載のなかった旧姓を表記するためのシステム改修経費が主なものでございます。これは男女共同参画社会の実現という国の方針に基づいて、今回、改修を行うものでございます。

そのまま16ページでございます。3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、一

番下です。9,860万7,000円の増額は、これは次のページ、17ページの一番上になりますが、国民健康保険事業特別会計への財政安定化支援事業等の繰出金5,071万3,000円などが主なものでございます。

17ページの2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、一番下でございます。7,554万8,000円の増額は、認可保育所等に対します延長保育促進事業補助金、それから市単独で実施しております軽度障害児保育事業補助金、それから、めくっていただいて18ページの一番上になりますが、市内9カ所への学童クラブへの放課後児童健全育成事業補助金などが主なものでございます。18ページのその下、2目児童措置費6,914万6,000円の増額補正は、保育給付費の単価改定などに伴う増額でございます。

19ページをお願いいたします。4款衛生費、1項保健衛生費、2目予防費1,108万9,000円の増額補正は、高齢者の成人用肺炎球菌予防接種及びインフルエンザ予防接種並びに個別接種委託料の増額でございます。

めくっていただいて20ページをお願いいたします。6款農林水産業費、1項農業費、5目農地費946万4,000円の増額補正は、集落が行う農地周りの水路・農道等の補修、更新などの活動に対する多面的機能支払交付金事業交付金の増などが主なものでございます。

次に、21ページでございます。7款、1項商工費、5目、これは新しい目でございます。

(仮称)まち・ひと・しごと総合交流施設管理費317万5,000円の増額補正は、先ほど申し上げましたように、(仮称)まち・ひと・しごと総合交流施設——旧国民宿舎をリニューアルするものでございますけども、それにおける備品購入費でございます。

めくっていただいて22ページをお願いいたします。8款土木費、2項道路橋梁費、2目道路維持費1,522万8,000円の減額補正、それからその下ですけども、道路新設改良費2,920万1,000円の減額補正は、社会資本整備総合交付金の交付決定に伴う減のほか、単独事業として実施をいたします道路維持補修工事及び道路改良測量設計業務委託料の増、また、23ページの上から2番目になりますが、19節の負担金、補助及び交付金です。国・県道整備に伴う県営事業負担金の増などでございます。23ページをそのままをお願いいたします。5目橋梁新設改良費7,421万7,000円の減額補正は、社会資本整備総合交付金の交付決定に伴う減などでございます。

めくっていただいて24ページをお願いいたします。4目、一番下でございますけども、街路事業費1億7,387万円の減額補正は、道路橋梁事業と同じく、社会資本整備総合交付金の交付決定に伴う減などでございます。

25ページをお願いいたします。真ん中ほどでございます。9款、1項消防費、5目災害対策費489万6,000円の増額補正は、大規模災害時における避難場所でのマンホールを活用したトイレ設備設置に向けた実施設計業務委託料などでございます。

めくっていただいて26ページをお願いいたします。10款教育費、2項小学校費、2目教育

振興費112万円の増額補正、それから次のページ、27ページになりますが、3項中学校費、2目教育振興費244万3,000円の増額補正は、人吉市小中学校教育振興会補助金の増額のほか、要保護準要保護児童及び生徒などに対する就学奨励費として、これまで当該年度の7月に支給しておりました新入学児童及び生徒の学用品費を前年度末までに前倒しして支給するための経費を増額するものでございます。

めくっていただきまして28ページをお願いいたします。6項保健体育費、2目体育施設費207万6,000円の増額補正は、梢山グラウンドにおいて、既存の固定式のサッカーゴールを解体・撤去し、新たに移動式のサッカーゴールを購入する経費などでございます。

29ページをお願いいたします。14款、1項、1目予備費を2,258万円増額補正いたしております。

以上で、議第83号平成29年度人吉市一般会計補正予算案（第6号）についての補足説明を終わります。よろしく御審議いただきますようお願い申し上げます。

○議長（田中 哲君） 以上で、議第81号から議第94号までの提案理由の説明は全部終了いたしました。

---

---

#### 日程第17 議第70号、日程第18 議第71号

○議長（田中 哲君） 次に、議会運営委員長から報告がありましたとおり、本日、継続審査となっております決算の認定等について委員長報告を受け、順次採決し、引き続き議第82号の（仮称）旅カフェエントランスセンター整備事業に伴う補正予算案件については、委員会付託なしで審議採決を行います。

まず、日程第17、議第70号平成28年度人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について、日程第18、議第71号平成28年度人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定についての2件を議題とし、厚生委員長の報告を求めます。（「議長、3番」と呼ぶ者あり）

3番。高瀬堅一議員。

○3番（高瀬堅一君）（登壇） 平成29年9月第4回人吉市議会定例会において、厚生委員会に付託されました議第70号平成28年度人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について、審査の経過と結果について報告をいたします。

委員会は3回にわたって開催し、まず水道局長、上水道課長から前年度要望事項に対する経過説明と決算内容の説明を受け、引き続き監査委員から審査意見書に基づく説明を受けた後、審査を行いました。

当年度は、前年度と比較して総収益が4.6%増の5億5,259万6,235円（税抜額）に対し、総費用が6.2%増の4億9,011万386円（税抜額）で、純利益が前年度より6.3%減の6,248万5,849円となっております。投資された事業の主なものとしましては、麓町配水管改良工事、

下薩摩瀬町配水管改良工事、下漆田町送水管改良工事等が行われております。

給水戸数は前年度より27戸増加、給水人口は316人減少し、給水区域内人口に対する普及率は99.45%となっております。年間総配水量は前年度より3.7%減少、年間総有収水量は1.4%減少しております。有収率は85.43%で、前年度より2.03ポイント上昇しております。

審査では、各委員から、純利益が平成25年度から年々減少している理由について、利益剰余金の処分について、下水道課との連携についてなどが質問されました。

これに対し執行部からは、純利益が減少している主な理由については、給水収益が年々減少していることと、退職引当金などが義務づけられたことにより総費用が増加したことによる。利益剰余金の処分については、建設改良積立金は施設の建設改良を目的とするもの。未処分利益剰余金は、突発的な事故等にも対応できるものとしてバランスをとって処分している。本市の繰越利益剰余金の額は県下13市と比較しても平均的な額となっている。下水道課との連携については、給水装置の検査と下水道の排水設備の検査をあわせて行うこととし、事務処理ミスの再発防止に努めているなどの説明がありました。

全国的な少子化傾向に伴う人口減少や節水意識の高揚などにより、今後も給水収益の減少が予想されます。また、費用の面では、施設の維持管理、老朽管の更新及び管路等の耐震化等に多額の出費が見込まれています。

委員会としましては、以上のことを踏まえながら、今後の水道事業の経営については、人吉市水道事業ビジョンに基づき、引き続き公営企業の原則である経済性と公共の福祉増進に沿って経営の効率化、健全財政及び収益性の向上に努められ、将来にわたって低廉で清浄かつ豊富な水の安定供給ができるように要望するとともに、下記事項についても重ねて要望を行いました。

## 記

- 1 水道事業の健全運営の維持を図るためには、水道事業の特殊性に鑑み、引き続き職員の技術力向上・維持に努め、上水道マッピングシステムに対するスキルアップを行うとともに、職員の適正配置に努めること。また、昨年発生した熊本地震による断水の経験を踏まえ、大規模災害や近年の異常気象に伴う環境の変化に対し、速やかに対応できる体制の強化を図ること。
- 2 水道料金の収納率向上のために、さらなる口座振替の推進を図り、水道料金の債権管理については、民法、地方自治法及び人吉市水道条例を十分認識し、引き続き適正管理に努めること。
- 3 耐用年数を経過し老朽化した水道施設及び管路の更新については、今後も国庫補助等の有利な制度を活用し、計画的に行い、市民の急激な負担増にならないよう適正運営に努めること。また、同じように老朽化している宅内の給水管や設備に関しても、不測の事故やトラブルが危惧されるため、引き続き広報やホームページ等を活用した多岐にわたる啓発

活動を実施すること。

4 将来にわたって衛生的な水源を維持するため、今後も水源地近隣の用地取得などの水源涵養の取り組みを進め、水源地一帯の環境保全に努めること。

以上、厚生委員会に付託されました議第70号平成28年度人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定については、慎重審査の結果、賛成多数で原案可決及び認定することに決しました。

次に、平成29年9月第4回人吉市議会定例会において、厚生委員会に付託されました議第71号平成28年度人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について、審査の経過と結果について報告いたします。

委員会は3回にわたって開催し、まず水道局長及び下水道課長から前年度要望事項に対する経過説明と決算内容の説明を受け、引き続き監査委員から審査意見書に基づく説明を受けた後、審査を行いました。

当年度は、総収益が11億3,300万3,717円（税抜額）に対し、総費用が10億6,203万9,285円（税抜額）で、純利益が7,096万4,432円となっております。投資された事業の主なものは、九日町汚水中継ポンプ場改築更新工事、公共樹設置工事や長寿命化計画に基づく人孔蓋更新工事等であります。

接続済世帯数は前年度より17戸増加、水洗化済人口は167人減少し、下水道普及率は74.1%、水洗化率は90.9%となっております。年間総処理水量は前年度より4.0%減少、年間有収水量は0.6%減少しております。有収率は71.11%で、前年度より2.43ポイント上昇しております。

審査では、各委員から下水道施設の設備・耐用年数等について、管渠等の整備状況等について、剰余金の処分についてなどが質問されました。

これに対し執行部からは、全体的な施設・設備等について、標準耐用年数を越えているものについては、維持補修等により適切に管理、運営しているところであるが、今後策定を行う公共下水道ストックマネジメント計画において、施設・設備等の現況や財政状況等も踏まえ、計画的に改築・更新を進めていきたい。剰余金の処分については、減債積立金には工事の起債を補填する分を積み立て、建設改良積立金には国の補助等がない工事を行う場合に積み立てを考えているなどの説明がありました。

水道事業と関連性が深い公共下水道事業においても、全国的な少子化傾向に伴う人口減少や節水意識の高揚などによる下水道使用料の減少、また費用の面における課題として、終末処理場やポンプ場の経年劣化に伴う更新費用の増加等が懸念されます。

委員会としましては、以上のことを踏まえながら、公営企業の原則である独立採算制の趣旨のもと、今後の公共下水道事業の経営については、自主財源の根幹をなす下水道使用料の適切な債権管理に努めるとともに、経営の効率化、健全財政に努められ、さらなる市民サー



ビスの向上を図られるよう要望するとともに、下記事項についても重ねて要望を行いました。

#### 記

- 1 下水道使用料の徴収については、今後においても上水道課との連携を密にし、市民の信頼を損ねることがないように適切な事務処理を行い、適宜全件調査を行うなど事務処理ミスの防止に努めること。
- 2 下水道使用料及び受益者負担金の納付については、口座振替の推進等を図ることにより、さらなる収納率向上に努めること。未収金については、改善傾向にあるが、負担の公平性の観点から、安易に不納欠損の措置をとることがないように引き続き臨戸訪問や実態調査を強化し、早期解消に向けて特段の努力をされること。
- 3 引き続き長寿命化計画に基づく施設等の適正な維持管理に努められ、特に下水道管やマンホール等の管渠施設においても、ポンプ場に負荷のかかる雨水や浸透水の浸入対策として、経年劣化の把握に努めること。

以上、厚生委員会に付託されました議第71号平成28年度人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定については、慎重審査の結果、賛成多数で原案可決及び認定することに決しました。

以上です。

○議長（田中 哲君） ただいまの委員長報告に対し、質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）

ないようですので、質疑なしと認めます。

以上で、質疑を終了いたします。

ここで、議第70号及び議第71号については、討論の要求がっておりますので、これより討論を行います。

1 番、塩見寿子議員の発言を許可いたします。（「議長、1 番」と呼ぶ者あり）

1 番。塩見寿子議員。

○1 番（塩見寿子君）（登壇） 議第70号平成28年度人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定に反対の立場から討論を行います。

平成8年度に水道料が約25%値上げされました。値上げ前の平成7年度の当年度純利益は2,864万円、これが平成28年度には6,248万円となっています。値上げ前の平成7年度の当年度未処分利益剰余金、つまり、累積黒字は8,746万円で、これが平成28年度には5億3,096万円になっています。平成7年度の累積黒字に比べて、平成28年度にはその約6.17倍にも膨れ上がっています。一方で、市民の暮らしはどうでしょう。年金は引き下げられ、消費税増税を初め、国保税や介護保険料や下水道料金など公共料金の引き上げ、本当に大変になっています。

多良木町では、平成18年度に毎月の基本料金が100円引き下げられ、さらに平成24年度に

も基本料金が100円引き下げられました。私が計算してみると、人吉市でも1年間当たり累積黒字の3.56%に当たる1,887万円を使うだけで、多良木町のように毎月の基本料金100円の引き下げが可能です。累積黒字の一部、3.56%を市民に返して、暮らしを応援すべきではないでしょうか。

以上のような見地から、私はこの議案に反対します。

続きまして、議第71号平成28年度人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定に反対の立場から討論を行います。

平成26年度に下水道料が10.85%値上げされました。その結果、20立方メートルの水を使用した場合の使用料は3,780円と、県下14市で一番高い下水道料金となりました。人吉市の平成28年度当年度純利益は7,096万円、平成27年度の純利益の4,512万円からふえています。平成28年度の当年度未処分利益剰余金、つまり累積黒字は2億8,158万円となっています。一方、平成26年度には消費税が5%から8%に上がり、年金は引き下げられる中、市民の生活はさらに厳しくなっています。下水道料金は14市で一番高くなりましたが、市民の所得は1番ではありません。地方自治体の一番の仕事は、市民の暮らし、福祉を守ることです。市民の生活が厳しい中での下水道料金の値上げは避けるべきだったと思います。

以上のような見地から、私はこの議案に反対します。

○議長（田中 哲君） 以上で、討論を終了いたします。

それでは、採決いたします。採決は分割して起立採決といたします。

まず、議第70号について採決いたします。議第70号について、原案のとおり可決及び認定することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者 起立]

○議長（田中 哲君） 起立多数。

よって、議第70号は原案可決及び認定することに決しました。

続きまして、議第71号について採決いたします。議第71号について、原案のとおり可決及び認定することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者 起立]

○議長（田中 哲君） 起立多数。

よって、議第71号は原案可決及び認定することに決しました。

---

## 日程第19 議第80号

○議長（田中 哲君） 次に、日程第19、議第80号平成28年度人吉市歳入歳出決算認定についてを議題とし、決算特別委員長の報告を求めます。（「議長、12番」と呼ぶ者あり）

12番。笹山欣悟議員。

○12番（笹山欣悟君）（登壇） 皆さん、こんにちは。それでは、平成28年度決算特別委員会

の報告を行います。

平成29年9月第4回定例会において、決算特別委員会に付託されました議第80号平成28年度人吉市歳入歳出決算認定について、審査の結果を報告いたします。

委員会は5回にわたって開催し、まず監査委員から審査意見書に基づく説明を受け、その後、各部・局から前年度の要望事項に対する対応及び資料の説明と各会計ごとの説明を受け、審査を行いました。

一般会計の実質単年度収支は、平成27年度においては6,406万円余りの黒字でありましたが、平成28年度においては1億9,506万6,000円余りの赤字となっております。一般会計から特別会計への繰り出しは11億6,478万3,000円となっております。

普通会計において、財政力指数は0.43で、前年度に比べ0.01ポイントの増となっており、実質公債費比率は6.8%で、前年度に比べ0.1ポイントの減、経常収支比率は102.8%で、前年度に比べ3.0ポイントの増となっております。

歳入面については、市税において平成28年度は若干の回復が見られたものの、長期的には生産年齢人口の減少に伴い市税の減収が見込まれるほか、このまま人口減少が続くならば地方交付税等の減収が懸念されます。また、歳出面については、高齢化による扶助費の増加や特別会計への繰出金の増加、加えて平成28年熊本地震により本庁舎が被害を受けたことに伴い、庁舎機能の移転・分散化を余儀なくされており、市民サービスにも大きな支障を来していることから、新市庁舎建設の推進及び老朽施設の対応が急務であり、今まで以上に財政需要の増大が予想されます。

よって、今後の財政運営に当たっては、新市庁舎建設に多額の費用が必要となることを考慮し、引き続き行財政運営全般にわたる改革を推進するとともに、財政状況をより正確に把握・分析し、歳出全般にわたる徹底した見直しによる歳出総額の抑制と重点化を進め、効率的で持続可能な財政運営を行われるよう要望します。

なお、個別の指摘・要望事項は次のとおりです。

- 1 税・使用料・負担金の徴収については、一定の成果は見られるものの、人口の減少や高齢化による影響を鑑み、より一層の収納率の向上と収納方法の検討に努め、収納未済額及び不納欠損については、税負担の公平の見地から滞納者の追跡調査、実態調査に力を入れ、さらなる歳入の確保に努められるよう要望する。
- 2 国民健康保険事業、介護保険、後期高齢者医療特別会計については、人口の減少や高齢化の進展により、今後も1人当たりの医療費等に係る支出の増大が予想されることから、市民健診受診率の向上や介護予防事業を推進するため、各種事業の周知徹底と受診率の低い若年層の対策を講じること。また、関係機関との連携を密にし、市民に対するジェネリック医薬品のさらなる利用促進等の周知とあわせて医療費の適正化を図り、健全な財政運営に努められるよう要望する。

3 工業用地造成事業については、雇用拡大や地域経済活性化に確実につなげ、早急な企業誘致が図られるよう、関係機関との調整を密にし、より積極的な企業・工場誘致活動に取り組まれるよう要望する。

4 平成28年度において発生した小学校プール水道水流出事故や、不適正な補助金交付事務、土地使用料支払い遅延に伴う延滞金支払いの発生、費用弁償支払い漏れ等複数の事務処理ミスについては、再発防止に向けた全庁的な取り組みがなされているようであるが、今後継続的な再発防止対策を推進し、これ以上住民サービスの低下を招くことのないよう最大限に努めること。

以上、4点の指摘・要望事項を付し、本委員会に付託されました議第80号平成28年度人吉市歳入歳出決算認定については、慎重審査の結果、全会一致で認定することに決しました。

以上、報告を終わります。

○議長（田中 哲君） ただいまの委員長報告に対し、質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

ないようですので、質疑なしと認めます。

以上で、質疑を終了いたします。

それでは、採決いたします。議第80号について、原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（田中 哲君） 御異議なしと認めます。

よって、議第80号は認定することに決しました。

---

---

#### 日程第4 議第82号

○議長（田中 哲君） 続きまして、日程第4、議第82号平成29年度人吉市一般会計補正予算（第5号）につきまして、委員会付託を省略し、直ちに審議、採決いたします。

議第82号について、質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

ないようですので、質疑なしと認めます。

以上で、質疑を終了いたします。

それでは、採決いたします。議第82号について、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（田中 哲君） 御異議なしと認めます。

よって、議第82号は、原案可決確定いたしました。

---

---

○議長（田中 哲君） 以上で、本日の議事は全部終了いたしました。

---

---

## 発言の申し出

○議長（田中 哲君） ここで、教育長の発言を許可いたします。

○教育長（末次美代君）（登壇） 議員の皆様、こんにちは。議長のお許しをいただきまして、人吉市議会に提出いたしました教育委員会の事務に関する点検評価報告書について、概要を説明いたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づきまして、全ての教育委員会は、毎年、効果的な教育行政の推進を図り、市民への説明責任を果たす観点から、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用しながら、点検及び評価を行うこととなっております。さらにその結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することを義務づけられております。

人吉市教育委員会は、人吉市教育方針の基本理念及び教育目標に基づき、平成28年度に実施いたしました主要な8つの事業を選定し、学識経験者3名からの御意見を参考にしながら、評価基準のAからDの4段階で評価をあらわし、教育委員会会議におきまして決定したところでございます。

学識経験者の方々からいただきました御意見につきましては、各事業の現状や必要性について、多角的に大変有意義なものであり、検討事項やさらなる創意工夫など、具体的な御意見もさまざまにいただき、本市の教育行政に対する御理解や、子供たちへの温かくも熱い思いを、また、大きい期待を改めて実感したところでございます。

なお、この報告書には、教育委員会の活動及び運営状況につきましても掲載しております。今後は、この評価結果を重視し、事業の方向性と事業の展開の指標として活用するとともに、報告書をホームページで公表し、議会や市民の皆様のお意見をいただきまして、教育振興基本計画を初め本市の教育行政のさらなる推進に生かしていくよう努めてまいりたいと存じます。

以上、御説明申し上げましたが、今後とも議員各位におかれましては、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

---

---

○議長（田中 哲君） 以上をもちまして、本日の会議を散会いたします。

午後0時03分 散会